

守りたい人が、いるんだ。

孤高の怠惰学生、鳥居浩太は高校2年の新学期、ある二人の少女と出会う。

一人は謎の美少女転校生、木之下なゆた
クールな無表情は、どこか不安に怯えた不自然さを覚える。

『ここはわたしの、思い出の場所』

『それに、あの人だってわたしを置いていった』

『ずっと……会いたかった……！』

一人は本が好きな謎の匿名希望者、なな子
無邪気な笑顔。時折見せる、諦念に似た哀愁。

『私の名前は、山田花子です』

『なんだか、その……。友達って私、できたの初めてで……。緊張、しちゃいますねっ』

『普通の人と違って私はっ……。いえ、なんでもありません……』

二人と関わっていく中で、浩太は衝撃の事実を知ることになる